

## 令和7年度辞令交付式 理事長挨拶

本日は、ご縁があり新規採用された方、これまでの実績から正規職員へ登用された方、そして、永年の努力と業績が認められ昇格された方が一堂に会していますが、皆さんにまずお伝えしたいことは、当法人の基本理念です。

千葉県福祉援護会の基本理念は「すべての人が心豊かに暮らせる社会形成に貢献します」としています。基本理念は、どうしても抽象的な表し方になりますが、「すべての人が心豊かに暮らせる社会形成に貢献します」この言葉を頭に刻んでいただき、基本理念に近づくような行動や取り組みを進めてください。逆に基本理念から離れていくような行動や取り組みは慎んでいただきたいと思います。皆さんの一人ひとりの行動や取り組みは必ず基本理念に繋がっているという考えを持っていただきたいと思います。

さらに、配布しました「こころ豊かに」は、法人の尊厳と権利の総合委員会が作成したものであり、そこに書かれていることは、私たちが守るべきルールでもあります。働くみんながルールを守るとご利用者支援が向上しますし、子供たちにとっても望ましい保育を行うことが出来るようになります。また、職員みんながこのルールを守ると、働きやすい職場になります。「こころ豊かに」に書かれていることを覚えていただき、これからの仕事に活かしてください。

次にお伝えしたいことは、私たちの求める人材像です。まずは、「お互いを支えあえるチームワークを大切にできる人です」。チームの中では一人で仕事を行うことはできません。助けたり助けられたり、「OTAGAI SAMA」という気持ちを持つことが大切です。そして、様々な職種の職員が働いていますので、時には意見の相違やぶつかり合うこともあるのかしれません。そうした時には、相手の職種や役割をぜひ考えていただきたいと思います。教育課程の異なる職種が一緒に働きますので、チームワークを発揮するには、お互いをよく知り理解しようとする努力が必要です。

次は、「相手の立場に立って同じ目線で物事を考え、自らの行動や言動を振り返って改善できる人です」。相手の立場に立つことは口で言うより難しいことかもしれませんが、相手の立場に立とうとする努力はできるはずです。そして、自らを振り返り、認めるところは素直に認め、あらためるべきところはあらためる、そうした思考を持って仕事に当たっていただきたいと思います。

最後は「おもてなしの心を持ってご利用者等に接し、ご満足いただくための仕事の技術を磨くことに一生懸命な人です」。仕事の技術を磨き知識を得ることは、結果としてよりよいご利用者支援やよりよい保育にもつながりますし、皆さんのスキルアップにもつながります。勉強は学校で終わりではなく、常にこれからも必要なことと考えるいただきたいと思います。

本日、こうして皆さんにお会いできたことは何かのご縁であると思います。私は約38年前、障害者支援施設誠光園の開設メンバーとして、介護職としてこの仕事につきました。今の千葉県福祉援護会は600人近い職員と、複数の事業を展開していますので、皆さんのスキルアップと社会の役に立ちたいといった思いを実現できる組織です。

そして、これから皆さんと一緒に、おこがましいかもしれませんが、社会のお役に立てるように、ご利用者や子供たちの幸せのために、職員の幸せのために、一緒に仕事をしていこうではありませんか。

最後に留学生の皆さんに伝えたいことがあります。私たちの仕事はご利用者の「命」をお預かりしていると言っても言い過ぎではありません。正しい介護技術と知識を使って、安心、安全な支援に当たってください。

学校での学びは終わりましたが、これからが本当の学びの始まりです。これからも日本語と介護を勉強してください。これはご利用者だけではなく、皆さんの幸せのためでもあります。日本には「継続は力なり」という言葉があります。毎日少しずつでも日本語と介護の勉強をしてください。その先には必ず成長した、幸せな皆さんの姿があるはずです。

本日ここにお集まりの皆さんの活躍と、ご利用者等と職員の皆さんのご健康と幸せ、法人の発展をお祈りし、令和7年度辞令交付式の挨拶とします。

令和7年4月1日 理事長 繁田高広